

1度も目覚まらず昇天

十八日午前、大阪府吹田市千里万博公園、エキスポランド内の「クマ牧場」（二十頭）で、飼育員が施設を忘れた地下飼育室のおりから地上の飼育員用の作業広場に逃げ出し、約三時間半後に麻酔薬で眠らされたヒグマの「ジャック」（オス、六歳）はおりに連れ戻された後、一度も目を覚ますことなく翌十九日午前に死んでいたことが二十三日わかった。

エキスポランドなどによると、「ジャック」は約一カ月

エキスポランド 逃走騒ぎのヒグマ



麻酔薬を打たれ死んだヒグマの「ジャック」

半前、他の仲間とけんかし右耳にけがを負い体調が悪かったことに加え、早く眠らせるため通常の三倍の六〇〇の麻酔薬を体内に注入したため死んだらしい。捕獲後、獣医が心臓マッサージや人工呼吸を続けたが、効果がなかった。

「ジャック」は二十日、兵庫県宝塚市内の動物霊園に埋葬された。戒名は「愛熊ジャック号」。

エキスポランドは、十八日の騒ぎ以来営業を中止していた「クマ牧場」について、「飼育員の安全教育を徹底する」などとして二十五日午前十時から営業を再開する。

通常の3倍、強い麻酔薬が命取り